

B

【別冊】

信州ユニバーサル・ツーリズムの形成

『信州型ユニバーサルツーリズム』の形成

都会型バリアフリーのようなハード偏重でない、

山岳高原・信州ならではのユニバーサルツーリズムの推進

「『信州型』ユニバーサルツーリズム」の3大特徴

- ① **地域でのサポート体制の充実** ⇒ 旅行をサポートする個人・団体が揃っている
- ② **サポート機器の充実** ⇒ JINRIKI、HIPPOCampなどサポート機器の充実
- ③ **信州ならではのバリア** ⇒ 通常はバリアであるはずの山や自然は、
逆に長野県の観光資源である



「信州型ユニバーサルツーリズム」

の形成に向けて

<R3・4年以降>

<R2・3年>

<H30・R1年>

推進会議による 受入れ意識の改革

◆推進会議による UT活動の活性化

- ・各団体の活動内容等の共有
- ・県民に幅広く考えを浸透させる

◆補助による強化・ モデルコースの造成

- ・機器の導入や県内各地にモデルコースを造成し、意識の醸成と、受入体制の整備を図る

諸団体への連携拡大 実務人材の育成

◆各種団体との連携を図る UT推進協議会を設立

- ・全県の福祉・高齢者・障がい者団体や特別支援学校等と連携し、『ユニバーサルツーリズム』の推進と連携を図るため、令和3年度に協議会を設立

◆信州大学と連携し、実務 専門人材を養成

- ・バリアフリー化が困難な山岳観光資源を合理的に利用可能とするための専門人材を育成するための講座を開講

県民運動への発展

◆どんな方でも楽しめる 信州型ユニバーサル フィールドへ

- ・信州のどこに行っても障がい者、シニア、妊婦、外国人など誰にでもやさしい観光地域づくりを推進

◆UT商品化・情報発信

- ・学習旅行や旅行会社での企画ツアーなどの商品化を進めると共にUTの情報発信→県内→全国へ



今年度の取組

◆実務人材育成強化（継続）

・昨年度に引き続き、信州大学と連携した実務人材養成講座を開講。

対象：宿泊事業者・観光事業者・養護学校教諭 等

内容：観光に関連する知識だけでなく、専門知識を有し、それに必要となる専門機材を高度な技術で運用し、包括的な教育的指導ができる人材の育成

その他：今年度、特別支援学校の教頭会を通じて情報提供及び現場の先生方に参加を呼びかけ

◆学習旅行の実証実験（新規）



◆学習旅行商品プログラム作成

○信州大学と連携し、特別支援学校の教頭会にて、支援学校対応型 野外教育プログラムについて説明。各学校にアンケートの協力及び希望校の募集を実施。

○実施希望のあった長野養護学校で、スキー教室前の事前学習及び専門機材を活用したスキー学習支援を行う予定(R4.2.4予定)

◆商品化に向けた旅行会社の招へい事業（新規）

○旅行会社（5社）を招へいして、10月4日（月）～5日（火）1泊2日の行程で、長野県のUTのモデルコースを紹介、体験（白馬・戸隠2地域）をして頂き、専門の視点から見たアドバイスをもらう。

○1日目の夜の時間に信州大学との取組及び県内4地域のUTの紹介・PRを各事業者にしていただく予定。

○旅行会社へのPR→UTの商品化、認知度向上→全国へ広げていく。

今後の取組（課題）

■県内の小・中・特別支援学校と連携したオリジナルプログラム作り（指導員の実践研究）

- ・県内小・中学校の先生を対象に「インクルーシブ野外教育」の勉強会を実施。
- ・希望する小・中・特別支援学校の実態に応じたオリジナルプログラム作成。
- ・インクルーシブ野外活動指導員の実践の場として、実際に子ども達に対応することによるレベルアップ。

■旅行会社での商品化。今年度の旅行会社の招へい事業をきっかけに、旅行会社での具体的な商品化を検討していただくと共に、長野県UTの認知度向上。